



## 令和2年度版 福祉教育推進事業「まなびねっと」プログラム例

(2020.6.1～当分の間) ※所要時間、内容等は目安です。

テーマ	No	プログラム名	R2年度実施の可否 (詳細は要相談)	所要時間	内容	主なねらい
福祉総合・地域活動	1	ふくしってなあに? (45分or90分)	○	20分	ふくしの意味/美里町の人口分布	・福祉の意味を知る
				25分	ぼく・わたしのエコマップ (マップ記入15分・解説10分)	・つながりの可視化、意識化
				25分	ぼく・わたしにできること (障がい内訳⇒買い物をする時に困ることのワーク等)	・多様性理解 ・自分にできることを考える ・福祉を自分事としてとらえる
	2	ちょこっとボランティア体験 (45分)	△ (要相談)	10分	「ボランティア」ってなあに	・ボランティア概念理解 ・ボランティアが身近なものであることを体験し実感する
				35分	ちょボラ体験 (使用済み切手・プルタブ仕分け)	
多様性理解 (障がいテーマ)	3	【聴覚】 耳がきこえないってどんなこと①DVD学習 (90分)	△ (要相談)	10分	導入 (障がい人口等)	・多様なくらしに興味をもつ ・一人ひとりの違いを「多様性」として受け止める気づきを促す
				30分	ゲストティーチャーDVD視聴	
				30分	個人ワーク・全体共有・ユニバーサルデザイン紹介など	
	4	【視覚】 目が見えないってどんなことDVD学習 (90分)		10分	まとめ・ふりかえり	※同行できるゲストティーチャー不在
	5	【聴覚】 耳がきこえないってどんなこと②体験交流 (90分) ※ゲストティーチャー3名	×	45分	ゲストティーチャー講話 (30分程度) 児童からの質問タイム (15分程度)	・ゲストティーチャーとの出会いと交流を通して一人ひとりがかけがえのない存在だと実感する。 ・町で出会った時のコミュニケーション方法や自分にできることを考えるきっかけとする。
				45分	コミュニケーションゲーム (ジェスチャーゲームなど) 手話・指文字紹介 など まとめ・ふりかえり (5分)	
6	【バラスポーツ】 バラスポーツ体験 (90分) ※ゲストティーチャー4～5名	×	10分	ゲストティーチャー講話	・ゲストティーチャーとの出会いと交流を通して一人ひとりがかけがえのない存在だと実感する。 ・バラスポーツの意義を実感する。	
			70分	バラスポーツ体験 (体験60分+休憩10分) フライングディスクorポッチャ		
			10分	まとめ・ふりかえり (10分)		

テーマ	No	プログラム名	R2年度実施の可否 (詳細は要相談)	所要時間	内 容	主なねらい
高齢者理解	7	としをとるってどんなこと (45分)	○	10分	「おとしより」のイメージって？ (10分)	・人生の先輩として高齢者を敬う気持ちを持ち、日常生活や施設訪問時においても交流が促進されるよう関わり方を学ぶ。
				25分	「高齢者のからだところ」ワークシート記入 (25分)	
				10分	まとめ・ふりかえり (10分)	
	8	まごころてがみ (※準備中)	準備中		町内のひとり暮らし高齢者等に児童・生徒からの手紙やビデオメッセージ、CD等を届ける。高齢者からの返事も可能な範囲で学校へフィードバックする。 ※No.7「としをとるってどんなこと」からのつながりとしての実施を準備中。	・会えない中でもつながりを切らず、新しいつながりを結ぶ取り組みにつなげる。 ・顔の見えない相手を想像し、何を伝えるか、どう伝えるかといった思いやる心を育むきっかけとする。
	9	認知症サポーター養成講座 ※ゲストティーチャー1～2名	△ (要相談)	60分	認知症キャラバンメイトによる講話 (中学生以上)	・認知症の理解と関わり方を学び、自分にできることを考える。
	10	【世代間交流】 ふれあいコンサート (60分) ※参加者50～70名	×	60分	※当日は児童による会場装飾・進行 児童による参加者お迎え (プログラム表渡し) 合唱等の披露 ふれあいタイム (児童が客席へ行って交流) 参加者お見送り	・交流する機会の少ない施設利用者や地域住民と出会う機会を児童が企画・実施することにより、地域の中で積極的に関わり合っていこうとする意欲を高める。
	11	【世代間交流】 ペタンク体験 (90分) ※ゲストティーチャー5～6名	×	10分	ゲストティーチャー講話 (老人クラブについて)	・人生の先輩として高齢者を敬う気持ちを持ち、日常生活においても交流が促進されるよう関わり方を学ぶ。 ・伝統行事や多世代で楽しめるスポーツに親しみ、交流を深める。
				70分	ペタンク体験 (体験60分+休憩10分)	
				10分	まとめ・ふりかえり	
	12	【世代間交流】 しめ縄作り体験 (90分) ※ゲストティーチャー3～4名	×	10分	ゲストティーチャー講話 (しめ縄ってなに?)	
				60分	しめ縄作り体験	
				20分	集合写真撮影・全員で片付け	

テーマ	No	プログラム名	R2年度実施の可否 (詳細は要相談)	所要時間	内容	主なねらい
防災	13	【小学校1～2年生】 ぼうさい豆知識クイズ (45分)	プログラム提供のみ (出前講座は×)	5分	導入 (自然災害の種類、身近な災害等)	・防災の知識を楽しみながら学び、「知る」ことから「防ぐ」ことへと段階的につなげていく一歩とする。
				30分	豆知識クイズ ※○×形式で挙手⇒解答を全体共有	
				10分	まとめ・ふりかえり (クイズ一覧を配布)	
	14	【小学校2年生以上】 KYT：危険予知トレーニング (45分)		45分	導入 (自然災害の種類、身近な災害等)	・学校の避難訓練と連動し、自分の身は自分で守ることを意識しながら災害時の想定と対処を考える。
				30分	KYT ※校内写真をグループごとに配布し、地震発生時の危険個所に○をつける+避難方法を考える⇒全体共有	
				10分	まとめ・ふりかえり	
	15	【小学校3年生以上】 ぼうさいビンゴ (45分)		5分	導入 (自然災害の種類、身近な災害等)	・命を守るために必要な備えについて自ら考え、普段の暮らしの中で防災を意識する機会とする。
				30分	ぼうさいビンゴ ※グループで話し合っって非常持出品の中身を考え、ビンゴシートに記入⇒全体共有	
				10分	まとめ・ふりかえり	
	16	【小学校4年生以上】 災害時のささえあい～困ったときはおたがいさま～ (45分)		5分	導入 (自然災害の種類、身近な災害等)	・災害弱者となりやすい状況の方の立場に立って想像し、自分にできることを考え、ささえあうことの重要性について実感する。
				30分	ささえあいゲーム ※グループごとテーマ (高齢者等) を設定し災害時に困ること・自分にできることを考える⇒全体共有	
				10分	まとめ・ふりかえり	
	17	【小学校4年生以上】 クロスロードゲーム (45分)	※未定 (グループワークが中心のため、今後の状況をふまえ各校と要相談)	5分	導入 (自然災害の種類、身近な災害等)	・災害時にも自分の考え、判断を持ち、他者に伝える訓練をする。 ・多様な考え方があることに気づき、災害時の合意形成のあり方や備えの大事さを実感する。
				30分	クロスロードゲーム体験 ※YES/NOカードを使用しグループで考えを共有する。	
				10分	まとめ・ふりかえり	
	18	【小学校5年生以上】 災害ひなん所トレーニング (45分)		5分	導入 (自然災害の種類、身近な災害等)	・避難者の特性をイメージし、他者に配慮しながら互いの強みを活かし合える関わり方について考える。 ・「自分を守る」防災から一歩踏み出し、「他者とともに安心・安全に過ごすあり方 (共生)」を考える防災訓練のきっかけとする。
				30分	災害ひなん所トレーニング ※HUGの簡易版。グループで話し合い⇒全体共有	
				10分	まとめ・ふりかえり	
	19	学校防災探検/防災チェックポイントラリー (90分)		10分	導入 (自然災害の種類、身近な災害等)	・校内にある「命を守るもの」を意識し、防災に関する理解を深めるとともに、仲間と協力しあいながら取り組むミニ防災訓練の機会とする。
				30～60分	学校防災探検/チェックポイントラリー ※校内にある身を守るもの (消火器、非常口等) を探す、またはチェックポイントで防災クイズに回答しながら校内探検をする (グループごと)。	
10分				まとめ・ふりかえり		
20	【PTA行事 等】 サバ飯体験・防災グッズ作り (45分or90分)		10分	導入 (自然災害の種類、身近な災害等)	・「身近なものでできる防災」を体験し、災害時の対処や日頃からの備えの必要性について考える。親子で取り組むことにより、家庭での防災意識を高める。	
			30～60分	サバ飯体験…ポリ袋クッキング等 防災グッズ…新聞紙スリッパ・コップ、ペーパーマスク等		
			10分	まとめ・ふりかえり		